

宮城の代表として活躍

第61回国民体育大会報告会

第61回国民体育大会「のじぎく兵庫大会（9月30日〜10月10日）」に出場した市出身の選手・監督の栄誉をたたえるため、「国民体育大会出場選手・監督等報告会（市体育協会主催）」が11月15日、サンシャイン佐沼で開催されました。ポルト、バレーボール、陸上、軟式野球、ソフトテニス、柔道の6競技に出場した選手

や監督のほか、体育協会、スポーツ少年団、学校、市関係者ら約70人が参加。佐々木猛会長が「宮城県を代表して活躍してきたことに心から敬意と感謝を表します。皆さんは登米市スポーツ界の宝。今後、練習や努力を重ね、さらなる活躍を期待します」とあいさつしました。その後、選手、監督一人一

人に会長から記念品が手渡され、記念撮影や会食をしながら懇談しました。各競技の結果は、小野寺晃さんが陸上成年男子棒高跳びで第5位、佐藤英雄さんが軟式野球成年で第5位、阿部純也さんがバレーボール少年男子で第7位に入賞。市出身の選手・監督が大活躍した大会となりました。



団体に出場した選手一人一人に佐々木会長から記念品が手渡されました

第61回国民体育大会出場選手・監督（敬称略）

No.	氏名	種目	所属	出身地
1	關 尚	ポルト（選手）	佐沼高3年	迫 町
2	千葉 理佳子	ポルト（選手）	佐沼高3年	南方町
3	武田 阿佑美	ポルト（選手）	佐沼高3年	南方町
4	星 遥	ポルト（選手）	佐沼高3年	南方町
5	佐々木 美穂	ポルト（選手）	佐沼高2年	迫 町
6	佐藤 恵	ポルト（選手）	佐沼高1年	迫 町
7	只野 麻衣	ポルト（選手）	仙台大3年	南方町
8	三塚 芳久	ポルト（監督）	佐沼高	迫 町
9	斎藤 貴紀	ポルト（監督）	女川高	石越町
10	遊佐 公美	ポルト（監督）	築館高	迫 町
11	阿部 純也	バレーボール（選手）	東北高1年	津山町
12	小野寺 晃	陸上（選手）	米山高	米山町
13	佐藤 英雄	軟式野球（選手）	登米市役所	東和町
14	中津川 澄男	ソフトテニス（監督）	東北高	南方町
15	熊谷 理恵	柔道（選手）	国士舘大1年	中田町

※上記のほか、市外出身者で市内の高校に所属する選手も2人いました

各国自慢の料理で交流会

登米市国際まつり



民族楽器を使って演奏や歌などを披露する参加者

民俗芸能や自慢の郷土料理などで交流と親睦を深める、市国際まつり（市国際交流協会主催）が11月5日、迫公民館で行われ、市内の英語指導助手や国際交流協会会員、市民ら約150人が参加しました。

会場には、各国の郷土料理や特産物などの展示のほか、姉妹都市交流事業の写真・パネルコーナーが設けられ、専門員による在住外国人の無料相談会も行われました。

ステージでは、県内在住のラテンアメリカやトルコ、モンゴルなどの出身者がそれぞれの民俗楽器を使った演奏や歌、踊りなどを披露。市からは、米山の丸山太鼓が華麗なばちさばきを披露し、会場を沸かせました。

また、参加者が軽食を一品ずつ持ち寄って、食べながら会話を楽しむポットラックパーティーを開催。すしやはっと汁、チヂミなどの各国自慢の郷土料理を味わいながら交流を深めました。



各国自慢の郷土料理を食べながら会話を楽しみました

環境保全活動を積極的に

上沼高・南方中で廃食油の回収作業



上沼高では文化祭で生徒たちが廃食油を回収しました

市が10月からスタートしたバイオディーゼル燃料（BD-F）推進事業に協力しようと、市内各地で廃食油の回収が広がりをみせています。上沼高では、10月28日に開催した文化祭で、廃食油回収

コーナーを校舎の出入り口前に設置。父兄や近隣の人たちが廃食油入りのペットボトルを持ち参り、生徒たちが回収に当たりました。集まった廃食油はポリ容器2個分約40リ。同校では、今後も廃食油の回収を続ける予定です。

10月31日には、職場体験の一環で南方中生徒3人が環境課を訪れ、廃食油の回収・製造作業を体験しました。生徒たちは「はんとく苑」の活動に同行し、市内のホテルや飲食店などから廃食油を回収。中田町にある作業所に持ち帰り、油をこして天カス

を取る作業などを行いました。大宮拓実君（2年）は「仕事の大変さを学べて良かった」と話していました。



市内のホテルから廃食油を回収する南方中生徒

健康のありがたさを実感

市民活き生き健康フェスティバル

第1回市民活き生き健康フェスティバルが11月18日、登米総合体育館「とよま蔵ジウム」で行われました。「いのちを育む「食とこころ」」をテーマとして、健全な食生活で豊かな人間性を育てることを目的に登米市と

ごに、さまざまなコーナーを設置。歯みがきボランティアによる正しい歯みがき方や、市内福祉作業所利用者が作成した手芸・民芸品などの販売、廃食油を利用した車の試乗会、自動体外式除細動器（AED）の操作体験などが行われました。

また、ステージでは、食育、環境、防災団体の代表者が実践活動を発表。「一人ひとりのキラめきから元気あふれる「健康登米市」と

題した講演会や、劇団「ぜんとうようくらぶ」の歌と踊り、いきいき体操なども行われました。そのほか、屋外では大勢の人たちが参加して、はっと汁の「はっとつみ」を体験。自分たちでつんだ温かいはっと汁を試食しました。一つの会場で健康に関するさまざまな体験や学習ができたとあって、会場に訪れた人々には、大変有意義な一日となりました。



家族連れなど多くの人が体験した「はっとつみコーナー」（上）飲酒体験用の眼鏡をかけて障害物に当たらないで歩くことに挑戦する参加者（中）会場を沸かせた講演会と「ぜんとうようくらぶ」の歌と踊り（下）